IWASAKI



unis
Lighting Orchestration

noiseless | sustainable | responsive
景観に調和し、環境に配慮し、人と場に応える光。

街に、景観に、美しい光の息吹を。
IWASAKI 景観照明の特設サイトへ▶

夜間の滞在人口を増やす光のランドスケープ

岩崎電気――宮島口しゃもじ広場に人の回遊を誘う「unis」シリーズの照明

世界遺産・厳島（宮島）を望む，瀬戸内海の玄関口・宮島口．広電宮島口駅の移設を契機として，官民の用地境界を越えた一体整備により「宮島口しゃもじ広場」が誕生した．
本整備をご担当した広島県佐藤裕幸氏（西部建設事務所廿日市支所）と広島電鉄八木秀彰氏（電車事業本部電車技術部）に，官民連携のデザインプロセスと，夜間の回遊を美しく支える岩崎電気の屋外景観照明「unis（ユニス）」シリーズの採用意図についてコメントを寄せていただいた．（編）



宮島口しゃもじ広場の夜景全景．

背景を演出する照明

世界遺産・厳島（宮島）への玄関口である宮島口．昭和40年代は，公園やプール，展望タワーなどが集積する「目的地」としての性格を有していた．しかし，観光客の増加に伴う周辺駐車場の拡大などにより，街並みは変容し，宮島口は次第に「通過点」へと変化した．こうした課題に対し，2015年の国際コンペを経て，2016年には「宮島口地区まちづくりグランドデザイン」，2017年には「宮島口地区まちづくり整備計画」が策定された．
この整備計画に基づき，広島電鉄は広電宮島口駅を海側へ約70m移設し，駅前広場を整備することとなった．同社は「日常を耕す回遊拠点」をコンセプトに，人びとが憩う空間の創出を目指した．一方，駅前広場の海側に隣接する港湾緑地は，広島県が埋立整備を担う別事業であり，当初は個別に設計が進められていた．両者によると，「歩行動線を機能的に整備し，憩いと回遊を促すためには，事業者を越えて連携する必要があった」という．そこで広島県と広島電鉄は連携し，官民の用地を「宮島口しゃもじ広場」として一体的に整備した．広島県も，廿日市市のグランドデザインに基づき，観光客や地域住民が海と宮島の景観を眺望できるアメニティ空間（緑地面積約0.3ha）の整備を進めた．「広島県と広島電鉄は，緊密に連携し，敷地境界を感じさせない，統一感を持った意匠での整備に努めた」という．具体的には，境界をまたぐ洗い出し舗装，25本のクロマツ，イベント時のステージとなるウッドデッキ「弥山テラス」，宮島特産のしゃもじを模した「しゃもじベンチ」などが，一体的なランドスケープとしてデザインされた．

景観に調和し，光で人を誘導する照明

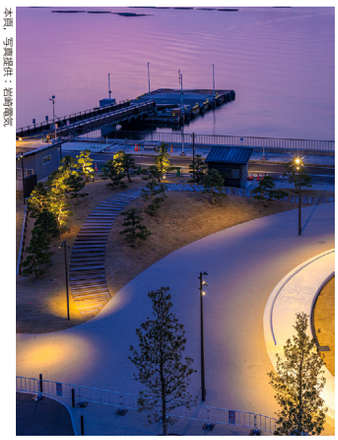
照明計画では，広島県が実施した厳島港宮島口地区旅客ターミナル（設計：乾久美子建築設計事務所，本誌2011）の建物と前面の広場を一体として捉えた．「旅客ターミナル建築からこぼれる光と，ランドスケープの形状を活かした柔らかくも美しい光が，居心地のよい雰囲気をつくり出すこと」を目指したと担当者は語る．設計において重視されたのは，海辺の眺望に対する視線の抜けを阻害しないこと，奥行と広がりを感じさせる明暗のコントラストをつくること，そして低層の建築群とリンクした，落ち着きのある低い光を基本とすることであった．空間における光の役割は主に以下の「3つの光による誘導」に集約される．

1. 旅客ターミナルとしゃもじ広場を繋ぎ，奥行と広がりをもたらす光．
2. しゃもじベンチを照らし，旅客ターミナルと広電宮島口駅の隙間から人びとを誘引する光．
3. フェリーの到着客に対し，船上から見てゆらぎと奥行を感じさせる夜景をつくる光．

両者によると，設計者の監修のもと，スポットライトを活用して「しゃもじベンチ」や「クロマツ」を暗闇に美しく浮かび上がらせる設計・施工が行われた．この効果について「2025年8月に開催されたナイトマルシェや花火大会では，夜間にもかかわらず広場の利用が多く見られ，賑わい創出に寄与した」と評価する．この光の誘導計画と意匠的な調和を支える照明器具として選定されたのが，岩崎電気の景観街路照明「unis（ユニス）」シリーズである．
弥山テラスでは，宮島への視線の抜けを最優先し，昼夜を問わず器具自体が主張しすぎず，景観を引き立てるスリムな「unis Stick Tall」を，しゃもじベンチでは配光調整の柔軟性に優れた「unis Spot Polelight」を採用した．場ごとのスケールや機能に応じて選択できるunisシリーズのバリエーションの豊かさに加え，海沿いの公共空間に求められる高い耐塩性と，風に対する構造的な堅牢さも，選定の重要な要因であったと設計者は述べている．

夜間を照らし，アクティビティを包み込む

宮島口しゃもじ広場を含む宮島口エリア全体の発展を見据え，周辺護岸や歩行者の回遊空間の整備が，現在も進められている．夜間の滞在を楽しんでもらうために，周辺の商業施設が夜間も営業し，飲食を提供するなどの民間アクティビティの創出が望まれる．宿泊施設の開業も予定されており，夜間の滞在人口の増加と共に，この広場が果たす夜間景観の役割はより一層高まることが予想される．
担当者は「今後も廿日市市と緊密に連携しつつ，ロータリーの整備などを進め，回遊性の向上と地域の一体感を生み出す魅力的なまちづくりを推進していく」との姿勢を示している．地域が一体となり整備したしゃもじ広場は，新たな夜間アクティビティを包み込むプラットフォームとして，宮島口の未来を照らし続けている．（文責：新建築編集部）



照らす方向の柔軟性に優れた「unis Spot Polelight」．



景観に溶け込むスリムな照明「unis Stick Tall」．



しゃもじ広場空撮．右に厳島港宮島口地区旅客ターミナル，海の対岸に厳島を見る．夜景を演出する照明が，人びとの活動や滞在を促す．

写真：特記除き，吉田誠